

「初午」はつうま団子を作ろう！とまゆから糸をひく体験

平成 28 年 2 月 6 日（土） 9:30～11:30

飛騨市内小学生とそのご家族の方 33 名に参加いただきました。



はじめに、12 月のワークショップで古川郷土民芸会館に飾った大きな花もち株を降ろし、みんなで花もちをとりました！昔は花もちを揚げて雛あられにし、花もち株は、はつうま団子を茹でる時の火にくべて使ったそうです。これぞ先人の知恵！全て感謝を持って、無駄なく使っていたんですね。

『まゆから糸を引く体験』では、最初は蚕を「気持ち悪い」という子もいましたが、人間が世話をしなければ蚕は何もできないこと、糸をとるために人間がそういう生き物にしてしまったこと、蚕は人間のために我が身を犠牲にしていることを聞き、「かわいそう」「けなげ」という声が聞こえてきました。蚕はやさしい虫「おかいこさま」ですね。



とっても細くて
きれいな糸が
とれたね！



もしもーし
聞こえますかー？



古川町公民館調理室に移動し、『はつうま団子作り』！あらかじめこねておいた米の粉を丸め、団子を作りました。はつうま団子は、『商売繁盛』でソロバンの形にしたり、『家内安全』で丸い形にします。また蚕を飼っていた家では、『よいまゆがとれるように』とまゆ形に作って神様にお供えしていたようです。



茹であがると
団子が浮いて
くるよ！
まだかなー♪



上手にできたよ！



お楽しみのおやつは、
もちろん『はつうま団子』！
そして今回特別に花もち雛
あられもプレゼント！
木が入っていたらラッキー♪

きなこをかけて
いただきました！
おいしかったね♪

